

小金井市公立保育園の運営に関するアンケートについて
(平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和2年度)

■ アンケート実施時期

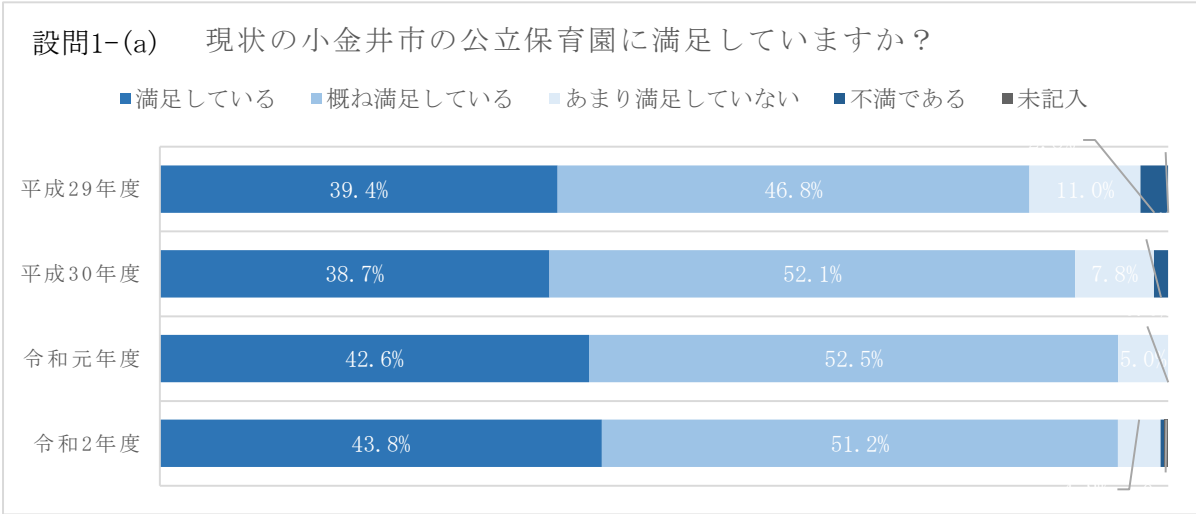
平成29年度 : 平成29年10月19日～10月31日
平成30年度 : 平成30年10月11日～10月22日
令和元年度 : 令和元年8月2日～8月26日
令和2年度 : 令和2年9月18日～10月2日

■ アンケート回答数

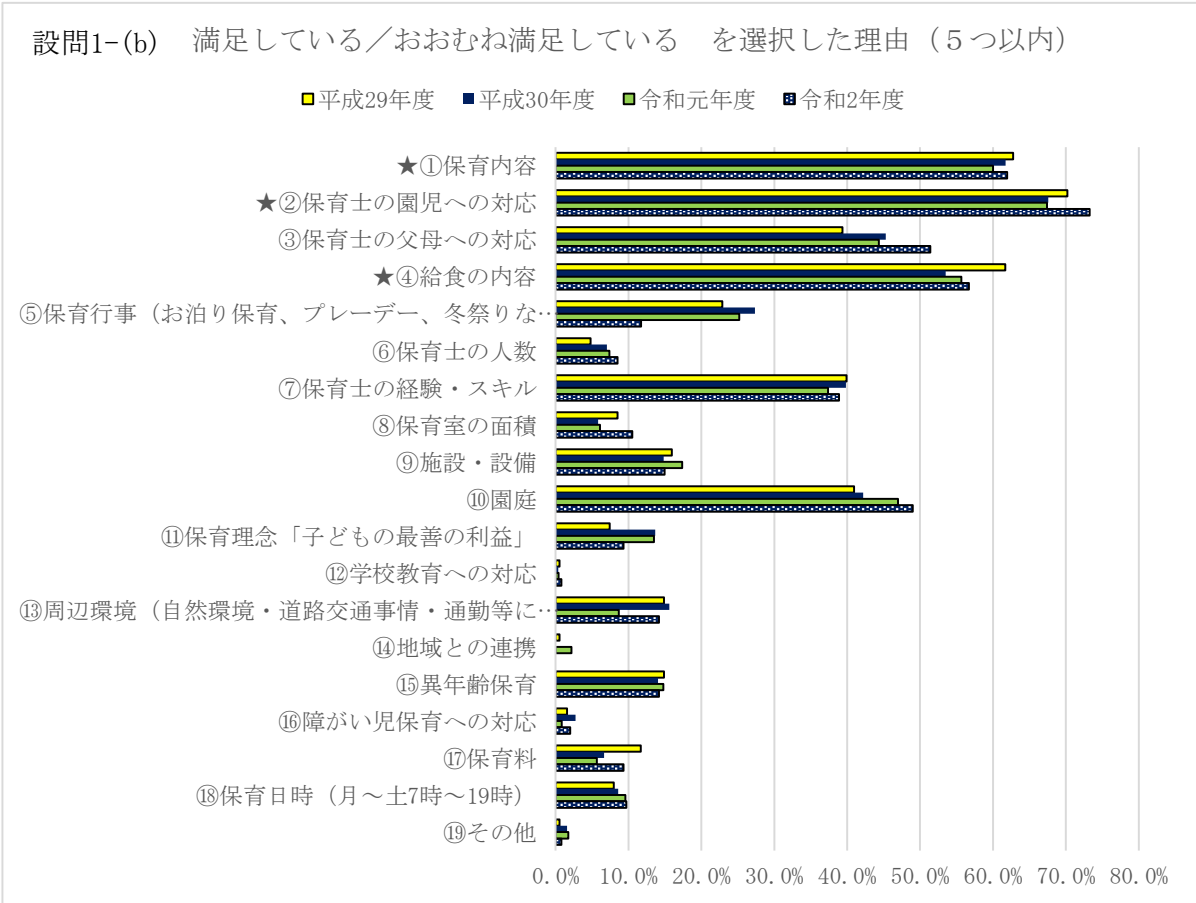
平成29年度 : 218件
平成30年度 : 282件
令和元年度 : 242件
令和2年度 : 260件

■ 集計方法

- ・アンケート項目のうち、設問1-(a)、1-(b)、2-(1)について経年比較を行っています。
- ・回答数は年度毎にばらつきがあるため、回答数ではなく回答割合で比較を行っています。



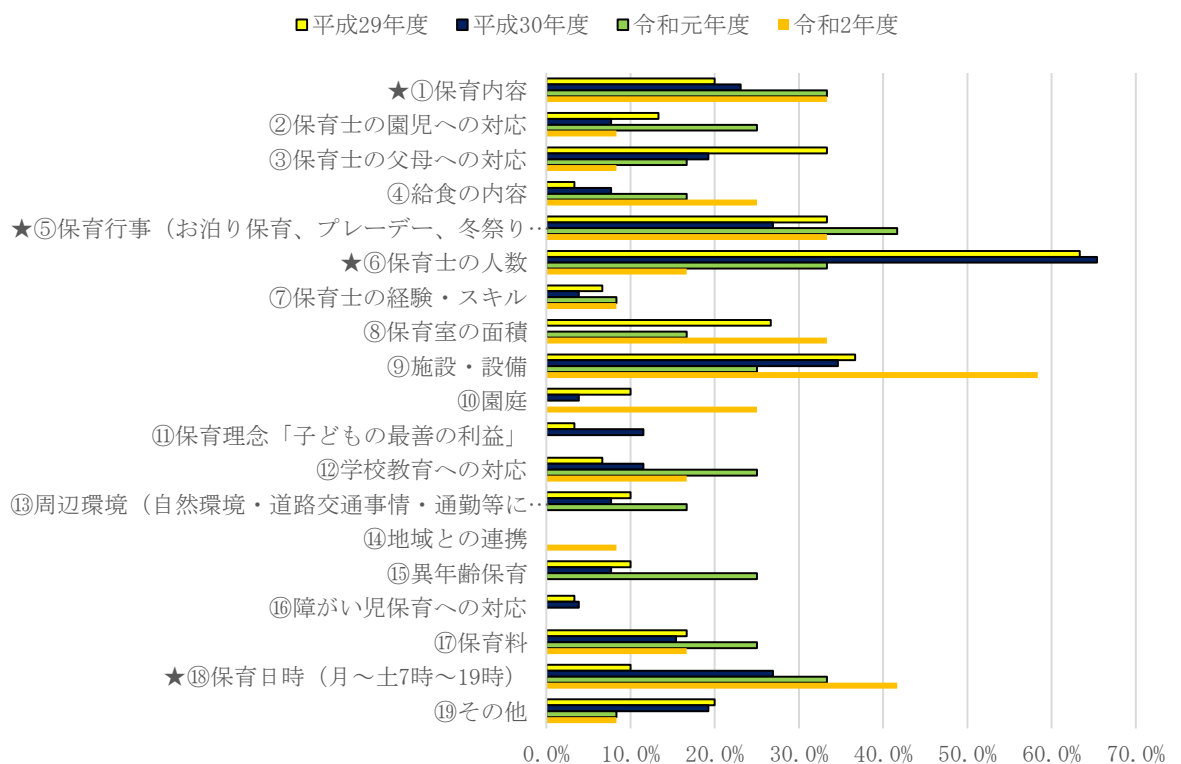
平成29～令和2年度の回答数を見ると、「満足している」及び「概ね満足している」と回答した割合の合計は、各年度とも90%前後であり、満足度は高い水準を維持しているものと考えられる。



※ 設問1-(a) で「満足している」「おおむね満足している」と回答した人のうち①～⑱を選択した人の割合を算出

- ・ 19項目のうち、3年間を通じて満足度が高い項目は、「①保育内容」、「②保育士の園児への対応」、「④給食の内容」などとなっており、いずれも50%を超える人がこれらの項目を選択している。
- ・ 「⑩園庭」を選択する人の割合は増加傾向を示している。

設問1-(b) あまり満足していない／不満である を選択した理由（5つ以内）



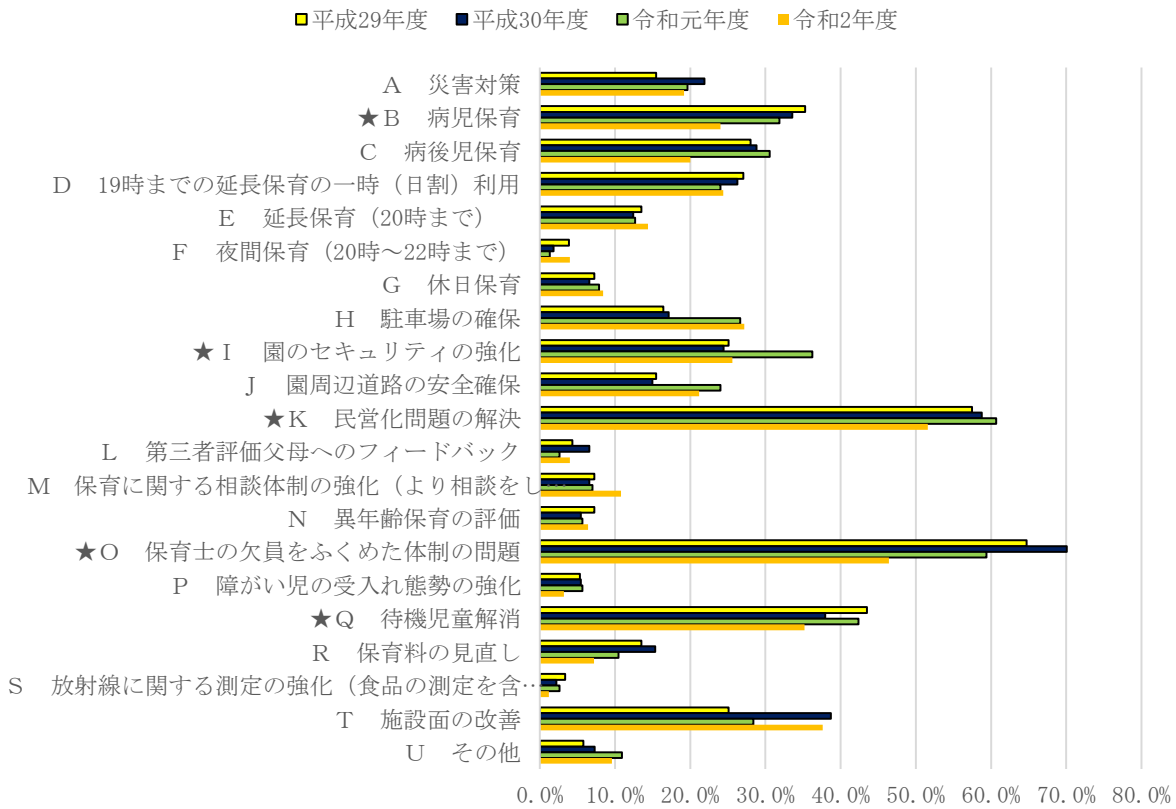
※ 設問1-(a) で「あまり満足していない」、「不満である」と回答した人のうち①～⑱を選択した人の割合を算出

（参考：「あまり満足していない」、「不満である」と回答した人数（回答者全体に対する割合））

- 平成29年度： 30人（13.8%）
- 平成30年度： 26人（9.2%）
- 令和元年度： 12人（5.0%）
- 令和2年度： 12人（4.6%）

- 「⑥保育士の人数」を理由に挙げている人の割合が、昨年度に引き続き、今年度大きく減少した。
- 「⑨施設・設備」を理由に挙げている人の割合が、今年度大きく増加した。

設問2-(1) 保育や保育園関係等で市に要望したいこと（1位～5位）

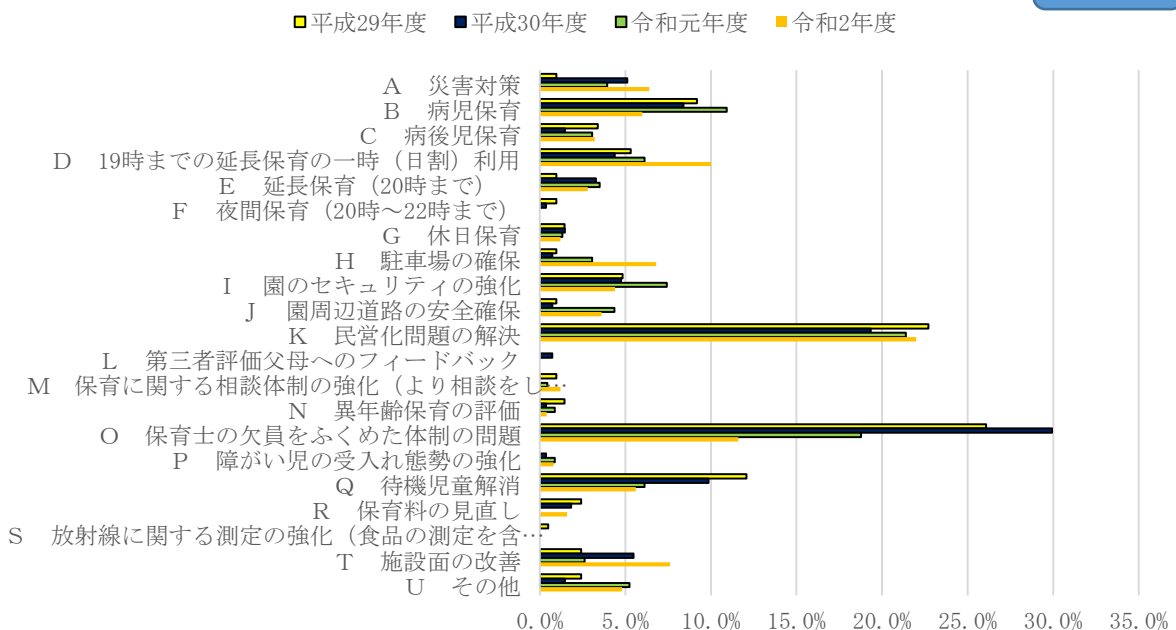


※ 1位～5位のいずれかにA～Uを選択した人の割合を算出
⇒ 1位ではないものも含めて、問題意識として持っている項目をすべて洗い出した結果

- ・ 4年間通じて「O 保育士の欠員をふくめた体制の問題」「K 民営化問題の解決」が1位、2位の状況は変わらないが、昨年同様、「K 民営化問題の解決」が1位になった。
- ・ 「T 施設面の改善」は今年度30%を超える人が選択している。
- ・ 「K 民営化問題の解決」、「O 保育士の欠員をふくめた体制の問題」、「Q 待機児童解消」は、4年間通じて30%を超える人が選択している。

設問2-(1) 保育や保育園関係等で市に要望したいこと（1位）

参



※ 1位にA～Uを選択した人の割合を算出
⇒ 問題意識が一番高い物のみを集計した結果